

※新刊委託・見計らい配本はありませんので、  
事前の注文をお願いいたします

7月上旬 取次搬入

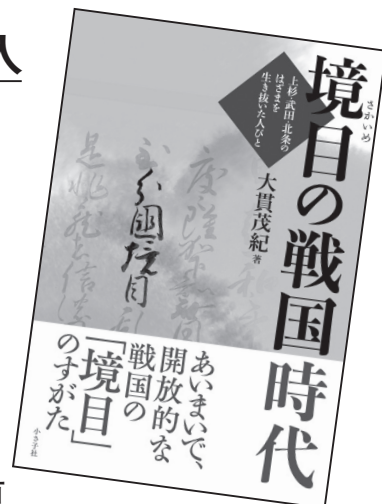
大貫茂紀（中央大学商学部特任准教授）著

さかい め

# 境目の戦国時代

上杉・武田・北条のはざまを生き抜いた人びと

四六判・並製本・256頁



## 主な目次

- 第I部 境目の社会と民衆
  - 第一章 境目とはどのような場か
  - 第二章 戦乱のなかを生き抜く
- 第II部 戦国大名のはざままで 生き抜いた領主たち
  - 第一章 国境の管轄者
    - 1 上杉軍の「越山」
    - 2 上田荘の人びと
  - 第二章 「根利通」をめぐる 領主たちの攻防
    - 1 上杉謙信期の小川可遊斎
    - 2 根利関所
    - 3 越相同盟と「根利通」
  - 第三章 小川可遊斎の活躍
    - 1 北条氏政期の可遊斎
    - 2 真田昌幸による可遊斎の調略
    - 3 武田勝頼期の可遊斎
  - 第四章 境目の消滅
    - 1 阿久沢氏と北条氏
    - 2 越後における可遊斎の活動
    - 3 上杉氏会津転封後の栗林氏
    - 4 武田氏滅亡後の安曇郡

## あいまいで、開放的な 「境目」から戦国社会を描く

- ◆戦国大名の支配地域の周縁部には帰属があいまいな領域＝「境目（さかいめ）」が広がっていた。
- ◆そこはモノや情報が行き交い、市が開かれる開放的な場であった。
- ◆境目の領主や住人は、あらゆる情報を手に入れ、分析し、有利な方に味方しながら、戦国の世を生き延びてきた。

\*引用史料はすべて現代語訳にしてわかりやすく解説

\*本書でとりあげられる主な地域：

群馬県・長野県北部・新潟県（群馬長野県境）など

ご注文FAX 075-708-6839 小<sup>ちい</sup>さ<sup>ご</sup>子社行

銚谷書店扱い 銚谷書店を通じ、日販・トーハン・楽天BNなどの帳合書店にお送りします

[書店名・番線印]	冊数	冊	境目の戦国時代 上杉・武田・北条のはざまを生き抜いた人びと ISBN978-4-909782-15-1
	ご担当者		
	ご注文日		
			定価：本体 2,300 円（税別） 条件：注文（返品条件付 担当 原宏一）

発行：小<sup>ちい</sup>さ<sup>ご</sup>子社（2018年6月設立）京都市左京区田中北春菜町 26-21 TEL075-708-6834 info@chiisago.jp